

HYOGO INTERNATIONAL ASSOCIATION



カムヒア

2020.10
VOL.

100

真の国際化を目指す 兵庫県の歩みを伝えて

号



発行・問い合わせ:(公財)兵庫県国際交流協会

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 国際健康開発センター2階 TEL 078-230-3260 URL <http://www.hyogo-ip.or.jp/>
Hyogo International Association International Health Development Center, 2nd Floor, 1-5-1 Wakinohamakaigan-dori, Chuo-ku, Kobe, 651-0073 JAPAN



「Come HIA」で振り返るHIA

1990年4月

財団法人兵庫県国際交流協会設立



1994年4月

外国人県民インフォメーションセンター開設



1998年4月

HAT神戸に移転
ひょうご国際プラザ開設



2003年7月

兵庫県・ワシントン州姉妹提携40周年県民交流団派遣



1991年4月

フランスのセーヌ・エ・マルヌ県と交流開始



1995年1月

阪神・淡路大震災
「緊急外国人県民特別相談窓口」
を神戸クリスタルタワーに開設



2000年8月

アジア太平洋フォーラム・
淡路会議設立



2004年10月

兵庫県パリ事務所10周年



1992年8月

西オーストラリア州・
兵庫文化交流センター開設



1996年6月

兵庫県南米訪問団派遣(ブラジル・
パラナ州との友好提携25周年)



2001年10月

兵庫県・西オーストラリア州姉妹
提携20周年県民交流団派遣



2005年10月

広東省学生訪問団来県



1993年10月

兵庫県パリ事務所開設



1997年8月

北欧兵庫県民交流団派遣



2002年4月

兵庫県立美術館、
JICA兵庫国際センター、
人と防災未来センターがオープン



2006年9月

のじぎく兵庫国体に
南米県人会招へい



の30年

1990年の創刊以来、HIAの今を伝えてきた広報紙「Come HIA」。
この30年のHIAに関する主なトピックスを掲載紙面とともにまとめました。

2007年4月

多文化共生・母語コーナー設置
(ひょうご国際プラザ内)



2008年4月

多文化共生課設置



2009年9月

兵庫県・ハバロフスク友好提携
40周年県民交流団派遣



2010年4月

設立20周年
公益財団法人に移行



2011年8月

トルコ北西部大地震の
震災遺児を兵庫に招待



2012年10月

兵庫県香港経済交流事務所開設



2013年6月

ひょうご国際交流団体
連絡協議会設立



2014年6月

第1回草の根国際功労賞表彰式



2015年5月

兵庫県・パラナ州友好提携
45周年県民交流団派遣



2016年7月

地域日本語リーダーの
養成事業開始



2017年4月

兵庫県・西オーストラリア州姉妹
提携35周年県民交流団派遣



2017年12月

兵庫県・広東省友好提携
35周年県民交流団派遣



2018年7月

兵庫県・ワシントン州友好提携
55周年県民交流団派遣



2018年11月

兵庫県政150周年記念
ひょうご多文化共生のつどい開催



2019年8月

兵庫県・ハバロフスク友好提携
50周年県民交流団派遣



これからも「Come HIA」は
兵庫県の国際交流の動きを
お伝えしていきます。



日本語・母語学習支援の取り組みを進めています

ポルトガル語版母語教育啓発パンフレット



「兵庫県地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」(国庫補助を活用)

外国人県民の日本語習得と一層の社会参加を目指し、2019年、総合的な体制整備に着手しました。市町や地域の既存の教室等と連携し、日本語教師による入門期日本語教室等を開催する他、日本語教育人材(ボランティア・教師・コーディネーター)の養成研修等を実施しています。

外国人県民対象「初級日本語講座」「すぐに役立つ日本語講座」

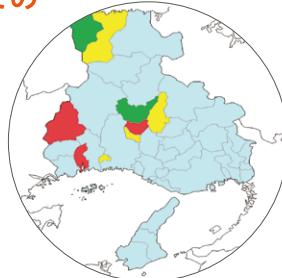
やさしい日本語でコミュニケーションができるために必要な文型や語彙を順番に学習できる「初級日本語講座」と、買い物や防災など日常生活に「すぐに役立つ日本語講座」を実施しています。いずれも教室の外につながる活動を重視します。



災害時の言葉・表現・対処方法を学習中

セーフティーネットとしての日本語教室開設事業

災害時のセーフティーネットになり得る日本語教室の役割に着目し、教室がなかった9市町と協働し教室開設の取り組みを2012年に開始しました。2015年度末、県内41市町全てに設置され、日本語学習の支援、日頃の生活情報の提供、災害時の安否確認や情報提供の拠点となっています。



2013年度開設
2014年度開設
2015年度開設
2015年度に県内の日本語教室空白市町解消

テキスト作成『できる?できた!! くらしのにほんご』(5言語版)

生活にすぐに役立つように、日常で使う日本語を学び、社会習慣や地域のルールを知ることができる教材を作成。副教材『わたしの生活ノート』、マニュアル『支援者のための活動デザインブック』と合わせ、協会HPからダウンロードできます。



英語・中国語・ポルトガル語・ベトナム語・スペイン語版があります

母語教育支援、母語教育研修会

地域における母語教室の支援として、「外国人県民・児童生徒の居場所づくり事業」によって財政支援をする他、地域の母語教育関係者の意識高揚を図る母語教育支援研修会を開催したり、母語教室支援モデル事業の実施や、母語教育支援としてベトナム語、ポルトガル語、スペイン語の母語教材を作成配布してきました。2019年度には、ポルトガル語版の母語教育啓発パンフレットを作成しました。

外国人県民・児童生徒の居場所づくり事業

外国人県民・児童生徒を対象とした県内の日本語教室、学習支援教室、母語教室等の事業が、外国人県民・児童生徒の居場所として、さらには日常生活や緊急時のセーフティーネットとしての役割を果たすことを目指し、財政支援を実施しています。2020年度は55団体を対象とします。



日本語教室

その他の多文化事業

●多文化共生を考える研修会 県・市町の職員、教員、NPO関係者、ボランティア等を対象に、外国人県民を取り巻く現状や諸課題等について共に学び、理解を深めるための研修会を開催しています。

●医療通訳 日本語を母語としない外国人県民等が安心して医療を受けられる環境を整備するため、医療通訳コーディネーターの設置や遠隔通訳の整備を行うNPO団体に対し、費用の一部を助成しています。

●外国人学校交流など 外国人学校交流推進事業により、県内9校の外国人学校に対して地域交流等の事業に助成金を支給。積極的な地域学習・交流(日本人学校との交流含む)を支援しています。



地域交流

ひょうご多文化共生 総合相談センターを 運営しています

ひょうご多文化共生総合相談センターは、外国人への総合生活相談窓口として、2019年4月1日に開設されました。1994年4月から実施している外国人県民インフォメーションセンターの対応言語を従来の5言語から11言語に拡充するとともに、NGOとの連携により土・日曜日も相談に対応できる体制を整えました。

外国人の皆さんのが日本・兵庫県で生活するまでの悩みや問題を気軽に相談してください。



相談風景

インフォメーションセンター入り口

| 区分 | 曜日 / 時間 | 実施場所(住所・連絡先) | 対応方法および言語 |
|----------|---------------------------------|--|---|
| 平日 相談 | 月～金曜日 9:00～17:00 (祝休日除く) | 外国人県民インフォメーションセンター 神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー6階 TEL 078-382-2052 | 〈相談員〉 日本語、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語 |
| | | | 〈外部通訳等〉 ベトナム語、韓国語、タガログ語、インドネシア語、タイ語、ネパール語 |
| 週末 相談 | 土・日曜日 9:00～17:00 (年末年始除く) | NGO神戸外国人救援ネット 神戸市中央区中山手通1-28-7 カトリック神戸中央教会内 TEL 078-232-1290 | 〈相談員〉 日本語、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語 |
| | | | 〈外部通訳等〉 韓国語、タガログ語、インドネシア語、タイ語、ネパール語 |

ひょうご国際交流団体連絡協議会について

ひょうご国際交流団体連絡協議会は、県内の国際交流団体が有するノウハウや情報を共有し、有効活用を図るネットワークを構築して団体相互の連携を促進するとともに、県における国際交流の充実発展や多文化共生社会づくりを目指すことを目的として、2013年6月に県および県内市町国際交流協会を中心とした36団体で設立されました。2016年度には、その前年度に設立された香美町国際交流協会が入会。また、2018年に「出入国管理及び難民認定法」が改正され新たな外国人材の受け入れが始まったことで、県内の在住外国人の増加が見込まれることから、2020年度から国際交流団体がない多可町、神河町、太子町、上郡町を準会員として迎えいれ、41団体となりました。



2018年度やさしい日本語講座(香美町)

各会員団体が抱える共通課題に素早く対応できるよう、各団体からの要望を尊重しながら各種事業を展開。昨今は地震や水害など災害が多発していることから、災害時の外国人支援を念頭に、防災訓練への参加や「やさしい日本語」の研修支援を行っています。また、各地域で開催される地域意見交換会は、各団体の現状を知るとともに課題を共有できる貴重な場となっています。

今後も、さらにネットワークの強化を図り、各団体のニーズに沿った事業展開に努めます。



2015年度兵庫県合同防災訓練「避難所体験訓練」での簡易トイレ作成の様子



草の根レベルでの国際交流が広がるよう 多彩な取り組みを進めています



»» 草の根国際交流

県民の皆さんのが草の根レベルの国際交流や多文化共生社会づくりに積極的に参加できるよう、世界の料理を通じてより身近な視点で異文化への理解と興味を深める「食文化交流教室」や、英会話での交流の機会を提供する「英語サロン」などを実施しています。

昨年は、駐神戸大韓民国総領事館のシェフから韓国料理を学んだり、駐大阪・神戸米国総領事館から外交官をお招きした「総領事カフェ in Kobe」でプラスチックごみによる環境問題について英語で話し合ったり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

»» 訪日教育旅行

学校交流を通じて海外の児童・生徒に兵庫県の魅力を伝えるとともに、県内の児童・生徒の国際理解の促進を図るために、訪問団の受け入れを積極的に推進しています。昨年は、台湾や中国、香港などの近隣地域をはじめ、インドネシアやドイツなどさまざまな国から、小・中学校や高校の訪問団や教育機関の視察団を受け入れました。

昨年5月には、台中市立台中女子高級中等学校31人(生徒26人、教員等5人)が県立加古川東高校を訪問して交流。女子生徒が浴衣姿で迎え入れ、両校一緒に炭坑節を踊りました。その後、グループに分かれて英語で討論しながら理科の共同実験を行いました。



英語での共同実験



ウェルカムパーティーで参加者にダンスを教えるOSCA学生たち

»» オックスブリッジ英語サマーキャンプ

オックスフォード大学とケンブリッジ大学の学生ボランティア団体(OSCA)から派遣される学生を県内の高校・大学等で受け入れ、英会話の授業や交流イベントを行うもので、2008年度からHIAが事務局として支援しています。これまで126人のOSCA学生が夏休みに来日し、県内の学生や地域の人たちと交流を深めました。OSCA学生による工夫された親しみやすい授業やイギリス文化を学ぶ交流事業などは夏の人気事業となっており、両国間の理解と草の根の国際交流の促進に貢献しています。



»» ホームステイ



ホストファミリーに
浴衣を着せてもらって記念写真

ボランティアホストファミリーを募集し、県内の大学や団体からの依頼で留学生等とホストファミリーとのマッチングを行う「ホームステイ事業」を実施しています。県内に滞在する外国人とホストファミリーがお互いの文化や習慣について理解を深めるだけでなく、短い滞在でも深いつながりができたり、自分の地域や文化について新たな発見があったりと貴重な経験ができる草の根交流です。昨年度は、延べ34家庭が50人を受け入れました。

海外事務所だより

-News from overseas offices-

5つの海外事務所を紹介します

5カ所の海外事務所を運営しています。いずれも文化・経済など幅広い分野での交流活動を行っています。

兵庫県ワシントン州事務所



日本文化会館イベントで兵庫をアピール

西オーストラリア州・兵庫文化交流センター



日本総領事館のレセプションで兵庫の酒をPR

兵庫県パリ事務所



ヨーロッパ最大の日本文化の祭典 Japan Expoにブース出展

兵庫県ブラジル事務所



兵庫県・パラナ州友好提携50周年記念ロゴの発表



兵庫県パリ事務所長 大江 伸一郎(中央)

「この度、着任しました大江です。目下、コロナ禍で人の往来が困難な状況ですが、国境を越えた交流の重要性は変わりません。兵庫県の海外拠点の一つとして、欧州各地との交流促進に取り組みます」

兵庫県香港経済交流事務所



観光促進商談会で行われた香港事務所のプレゼン

留学生を支援しています

兵庫県私費外国人留学生奨学金

県内の私費外国人留学生が安心して学習や研究を行えるよう、1988年度から延べ約5,500人に奨学金を給付してきました。1年間の受給者が決定すると7月頃に受給者証交付式を行い、HIA理事長が代表者に受給者証を授与します（今年度の交付式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しました）。

今年も約150人の奨学生が決定しました。彼らが勉学に励みながら兵庫の魅力をたくさん発見してくれることを願います。



受給者証交付式の様子（2019年度）

これまでの
留学生の感想

奨学金のおかげで、親の負担を軽くすることができ、自分ももっと勉強に専念できるようになった。大量の参考書もいるので助かる（兵庫県立大学、中国）。

奨学金を受け取ってから、アルバイトを減らせたことで日本語の授業を受け始めた。クラスで最高の成績を収めた生徒の1人になった（関西学院大学、パキスタン）。

奨学金をもらったことでアルバイトの時間を減らし勉強に専念でき、大学の活動にも参加できたおかげで沢山の友達ができる（流通科学大学、ベトナム）。



受給者証授与（2019年度）

カルチャーパス

留学生が県内約90施設を無料または割引で利用できる、カルチャーパスも配布しています。

留学生活で大阪、京都のような観光都市以外に兵庫県の魅力も発見して、兵庫県のファンにもなった。これはひょうごカルチャーパスのおかげで、大好きな美術館などを見ることができた（神戸国際大学、中国）。





新型コロナウイルス感染症発生に対する当協会の取り組み
～県や市町国際交流団体等と連携して外国人県民に情報提供しています～

ホームページ

Facebook

メールマガジン



ひょうご国際プラザを紹介します

[国際情報センター]

国内外の図書約2万5,000冊を所蔵する図書室です。
県内に在住・在勤・在学の方であれば、1人5冊2週間
まで借りることができます(一部資料を除く)。多文化共
生関連の資料、日本語学習・日本語教育に関するテキスト、
外国語の小説や絵本、旅行ガイドブック(国内・国外)など、
幅広く取りそろえています。



[交流ギャラリー]

国際交流・国際協力への理解を促進する
さまざまな展示を開催しています。



皆さんのご来館を
お待ちしています！



交通アクセス・開館時間、
イベント情報については
HPをご覧ください。



<https://www.hyogo-ip.or.jp/shisetsuannai/plaza/plaza2.html>

2020-2021 HIA図書展示カレンダー（予定）

| 10月 | 11・12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----------|-----------|----------|--------|
| ドイツ特集 | 世界のクリスマス | オーストラリア特集 | 外国から見た日本 | 国際女性デー |

*内容は変更になる場合がありますので、ホームページで確認してください。

